

令和4年11月

no.
103

よめばやさしくなる
しやまの
こうほうし



福祉くまの

次世代に対する心構え



熊野市社会福祉協議会の一部事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

次世代に対する心構え

2025年問題から 2040年問題へ

団塊の世代（昭和22年～24年生）が75歳に到達する2025年

は、医療や介護需要の高まりによる社会保障費の急増が懸念されています。いわゆる「2025年問題」と呼ばれていますが、今後はもっと大きな壁に立ち向かわなければなりません。18年後の2040（令和22）年は、団塊ジュニア世代（昭和46年～49年生まれ）が65歳以上に到達することにより、高齢者人口のピークを迎えます。2025年問題と同じく、社会保障費の増大とともに、現役世代の急減であるこの「2040年問題」は、将来の福祉施策やこれからの地域づくりへも大きな影響を与えます。

厚 少く おん な る

労省によれば、2040（令和22）年には医療・福祉分野の就業者が96万人も不足すると推計されています。人材確保が大きな課題になります。人財確保が大きな課題になる。昨今、次世代を担う子どもたちに対する福祉の魅力発信は私たちの使命とも

言えるかもしれません。そのような中、社会福祉協議会でも様々なチャレンジを始めています。

コロナ禍でシフトチェンジ（内容の変更）

「熊野市社会福祉法人連携」

規模縮小を余儀なくされた中で、従前のふれあいフェスタから対象者を限定（特定）した内容にチャレンジ。小中学校に対しての福祉の魅力発信を目的として企画したところ、参加者からは予想以上の反響を得ることとなりました。

市内社会福祉法人が連携

「熊野市社会福祉法人連絡会」

社会福祉法人連絡会では小中学生向けの「福祉のお仕事パンフレット」を発行。福祉関連資格の取得方法や仕事内容、現場で働く若手職員のインタビュー記事を掲載した当パンフレットは、一部学校での授業の教材としても活用頂きました。

紀南地域で連携

「ふらつとフェス」

熊野市、御浜町、紀宝町それぞれの地域包括支援センターと社会福祉協議会、紀南介護保険広域連合による、子どもを対象とした福祉イベントを開催。3市町間で連携しながら、紀南地域全体での魅力発信に取り組んでいます。これらは一部の事業ですが、今後、様々な取り組み

（事業）を実践していきたいと考えています。子ども期の様々な体験は将来の進路選択に大きな影響を与えるものと考えられることから、子どもたちがたくさん福祉に触れる機会を設けていくことが私たちの役割であると思います。

地域の皆様へ

※ 前述した福祉のお仕事パンフレットの巻末でも触れていますが、福祉業界に対するネガティブ（消極的）なイメージは少なくありません。「大変そう。給料が…」そんな声も囁かれる中、福祉業界の待遇改善に向けた諸施策により、平均賃金は他業種と比較しても決して低くありません。また、人にしかできないことが福祉です。次世代を担う地域の子どもたちが福祉に興味や関心を抱いているならば、ぜひ、共に向き合ってみてあげてください。

※熊野市社会福祉法人連絡会の窓口に設置しています。ケアホーム熊南／たちばな園／グリーンプラザ／井戸保育園／熊野市社会福祉協議会



やりました。

8/27

ふらつとフェス

※特集記事に詳細あり。くまのクエスト実行委員会の皆さんによる「子どもフリーマーケット」は、お客さんも全てが子どものみ。子どもたちは、様々な体験を通じて、福祉を考える一日となったようです。これからも様々な企画に取り組みしていきますので、よろしくお願います。



8/29

やまっこ×みいつカフェ

合同夏祭り

飛鳥町の子ども食堂「やまっこカフェ」（代表 辰本友弘さん）と社協サロン「みいつカフェ」が合同で夏祭りを開催。運営スタッフとして木本高校JRC部の皆さんにもご協力いただきました。夏祭り定番のヨーヨー釣りや射的、最後にはナイアガラの滝花火であり、大盛り上がりでした。



おたんじょうびおめでとうございます！ 満百歳記念事業

ご長寿祈念事業

9/29

※9月19日は台風接近のため延期しました。



10/7

宮本君枝さん（五郷町）
大正11年10月1日生まれ



9/8

陰地廣榮さん（井戸町）
大正11年9月8日生まれ



みんさんに観つてもらって
ありがたいと素敵な笑顔。歌ったり、人と話したりすることが好きで、地元の話や現在生活されている施設のことをたくさん話してくれました。

食べ物の好き嫌いがなく、食事もおいしいと、元気に過ごされています。誕生目にお孫さんたちからプレゼントが届いたそうで、家族から愛されている様子も伺えました。

今年、満95歳になられる方を訪問して、ますますのご健康とご長寿を祈念させて頂きました。みなさまともお元気で、温かく迎えてくださいました。（今年度の訪問者数 16名 今年度の対象者数 53名）



ボランティアからのおしらせ♥ボランティアからのおしらせ♠ボランティアからのおしらせ◆ボランティアからのおしらせ♣ボランティアからのおしらせ



ボランティアグループ活動紹介

子ども食堂 WAWAWA さんが夏祭りを開催！

紀和町にて毎月開催している子ども食堂「WAWAWA」さんが夏祭りを開催！コロナ禍という事もあり小規模での開催となってしまいましたが、紀和町の子も達は元気いっぱい楽しんでいました。



無料法律相談

- ◆開設日 11月15日(火)
12月20日(火)
- ◆相談員 片山眞洋 弁護士
- ◆会場 保健福祉センター
- ◆時間 13時から(一人15分)
- ◆相談内容 民事全般
(相続、離婚、雇用、他)
- ◆予約 約前日の15時まで
- ◆担当 地域福祉係 伴(ばん)



リサイクル情報

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲ってほしい」という品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。品物を「ゆずりたい」または「ゆずってほしい」場合は気軽に問い合わせください。情報はホームページのリサイクルのページでも確認いただけます。

◆担当 地域福祉係 都竹(つづく)



リサイクルのページ



熊野市社会福祉大会開催

社会福祉の発展に功績のある方々への顕彰を行うため「第9回熊野市社会福祉大会」を開催します。

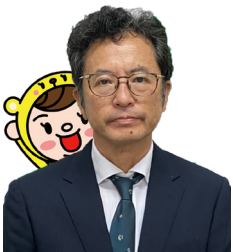
- ◇日時 令和4年11月2日(水)
13時30分開会
- ◇会場 熊野市民会館



市民健康スポーツ祭に行こう

来る11月13日(日) 9時~12時30分 山崎運動公園(有馬町)で市民健康スポーツ祭が開催されます。来場される方々にいろいろなスポーツを楽しみながら体験いただき、笑顔でお帰りいただける内容について、実行委員を中心に企画されている最中です。当日は「くまちゃん」も登場するかも…。**毎度おなじみ赤い羽根ブースもやります!**多数のご来場をお待ちしております。

あたらしいしょくいんしょうかい



障がい支援係
Colors(カラース)
就業支援担当
森本省悟

久しぶりの障がい者支援となりまして、初心にかえり頑張りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

くまちがいさがし

秋の夜長にくまちがいさがし! くまちがい箇所は8つ!
今回のプレゼントは、**手づくりくまちゃんグッズ第3段!**
「くまちゃんスマートフォンスタンド」です! しかも大盤振る舞いの5名の方にプレゼント!! ふるって挑戦してください!!



コレ!



充電もバッチリ!

あとがき



健康診断の結果を真摯に受け止め、運動を頑張っている。頑張れば意外と形に現れてくるもので、今はそれが前進する力になっています。辛いことやしんどいことは、やる前から大きな壁として立ちふさがり、その時点で負けることが多いです。でも、ひとつ山を越えることができれば、そこから前に進むことができます。▼壁があっても目をつむって前に進んでみませんか。壁は大きいように見えて、実は大したことないのかもしれないよ。▼これからなんでも美味しい季節…。大きな壁ですね…。(あきひと)

- ①はがきに文字で答えを書いて送る
 - ②この絵に記入して、はがきに貼って送る
 - ③この絵に記入して、写真を撮って「おてがみ」から送信する
- はがき ☎ 519-4324 熊野市井戸町 1150 番地 熊野市社会福祉協議会くまちゃん宛
「おてがみ」 ☎ 熊野市社協 HP「おてがみ」から。

▼右下QRが便利! ▼

福祉くまの、くまちゃんの感想もかいてね♥
令和4年11月29日(火)まで

前回の答えと当選者



岡本和樹さん
西岡静穂さん
橋本恭子さん

おめでとう!
「くまちゃん」です!



福祉くまの no.103
(2022年11月)

発行 社会福祉法人 熊野市社会福祉協議会
☎ 519-4324 三重県熊野市井戸町 1150 番地
☎ 0597-89-5000 FAX 0597-89-3068

